

阪南市総合計画策定に係る 住民意識調査報告書

(速報版)

平成 22 年 7 月
阪南市

目次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査対象および調査方法等.....	1
3. 回収状況.....	1
第2章 回答者の属性	2
1. 性別.....	2
2. 年齢.....	2
3. 地区.....	3
4. 職業.....	3
5. 居住年数.....	4
6. 同居している方.....	4
7. 居住形態.....	4
第3章 阪南市の暮らしやすさについて	5
1. 今後の居住意向.....	5
2. これからも住んでいたい理由.....	6
3. 阪南市以外に移りたい理由.....	7
第4章 阪南市の現状と今後の施策について	8
1. はじめに.....	8
2. 施策ごとの達成度・重要度.....	9
3. 達成度・重要度の指数化.....	13
4. ポートフォリオ分析.....	16
第5章 今後のまちづくりについて	25
1. 産業活性化の方向性.....	25
2. 企業誘致の進め方.....	25
3. 阪南市の資源・強み.....	26
第6章 協働のまちづくりについて	27
1. 社会活動の参加意向.....	27
2. 協働のまちづくりへの関わり方.....	27
3. 行政の役割.....	28
第7章 日常生活について	29
1. インターネット利用.....	29
2. インターネットの利用手段.....	29
3. 暮らしの情報の取得手段.....	29
4. 知りたい情報.....	30

5. 公共施設の利用有無	30
6. 自治基本条例の認知	31
7. 行政サービスと負担	31
8. 中心市街地の方向性	31
9. 通勤・通学先.....	32
10. 通勤・通学手段.....	32

第1章 調査概要

1. 調査目的

新たな阪南市総合計画の策定にあたって、広く住民からの意見、要望、提案を聞き取り、住民の意見等を反映した計画づくりを行うため、調査を実施しました。

特に、行政の取り組みである施策ごとの「達成度」「重要度」を把握し、施策の選択と集中を図るための基礎情報として活用します。また、阪南市に特化した課題に対し、市民の意識・意向を把握するために実施しました。

2. 調査対象および調査方法等

- ・調査対象：阪南市全域、市内在住の16歳以上の市民
- ・対象者数：3,000人（人口バランスを考慮した無作為抽出）
- ・調査方法：郵送による配布・回収。無記名方式。 ・調査時期：平成22年4～5月

3. 回収状況

- ・配布：3,000通
- ・回収：1,242通
- ・回収率：全体41.4%

	配布数	回答数	回収率
A地区（尾崎・尾崎町）	408	156	38.2%
B地区（下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府宮石田団地）	609	218	35.8%
C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）	536	197	36.8%
D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）	309	129	41.7%
E地区（舞・鳥取三井・光陽台）	482	235	48.8%
F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）	210	127	60.5%
G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）	258	91	35.3%
H地区（桃の木台）	188	82	43.6%
無回答	-	7	-
合計	3,000	1,242	41.4%

*本調査結果をご覧になる際の注意点

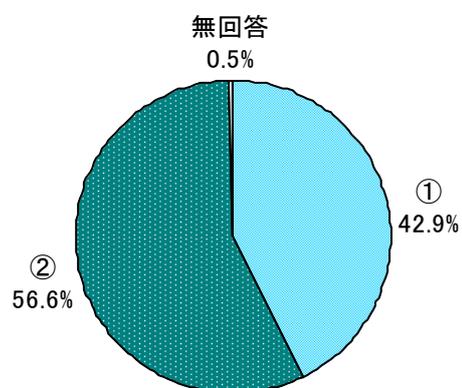
- ・グラフおよび表中の構成比（%）は、小数第2位を四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。
- ・グラフおよび表中の「無回答」には、無効回答を含んでいます。
- ・達成度・重要度において、1.0%以下は表示していません。

第2章 回答者の属性

1. 性別

あなたの性別は。

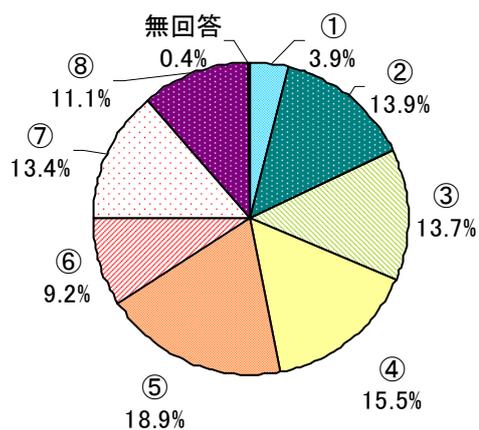
	回答数	構成比
① 男	533	42.9%
② 女	703	56.6%
無回答	6	0.5%
合計	1,242	100.0%



2. 年齢

あなたの年齢は。

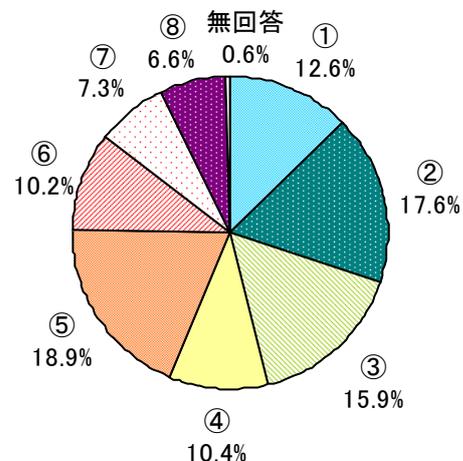
	回答数	構成比
① 10歳代	48	3.9%
② 20歳代	173	13.9%
③ 30歳代	170	13.7%
④ 40歳代	193	15.5%
⑤ 50歳代	235	18.9%
⑥ 60～64歳	114	9.2%
⑦ 65～69歳	166	13.4%
⑧ 70歳以上	138	11.1%
無回答	5	0.4%
合計	1,242	100.0%



3. 地区

あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

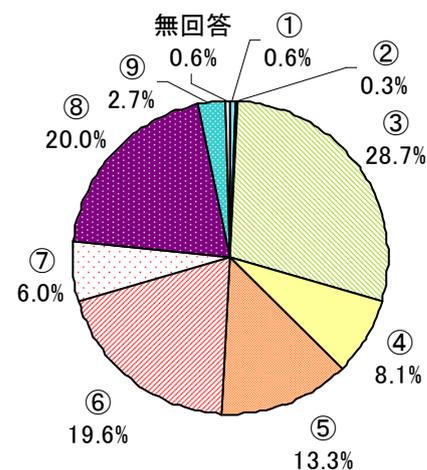
	回答数	構成比
① A地区(尾崎・尾崎町)	156	12.6%
② B地区(下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府営石田団地)	218	17.6%
③ C地区(鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台)	197	15.9%
④ D地区(和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘)	129	10.4%
⑤ E地区(舞・鳥取三井・光陽台)	235	18.9%
⑥ F地区(貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅)	127	10.2%
⑦ G地区(田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘)	91	7.3%
⑧ H地区(桃の木台)	82	6.6%
無回答	7	0.6%
合計	1,242	100.0%



4. 職業

あなたの主な職業は何ですか。

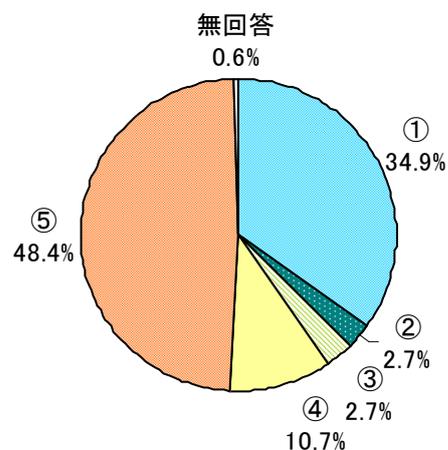
	回答数	構成比
① 農林業	7	0.6%
② 漁業	4	0.3%
③ 会社員・公務員	356	28.7%
④ 自営業(家族従業者を含む)・団体役員・会社経営	100	8.1%
⑤ パート・アルバイト	165	13.3%
⑥ 専業主婦・主夫(家事・育児だけに従事)	244	19.6%
⑦ 学生	75	6.0%
⑧ 無職	249	20.0%
⑨ その他	34	2.7%
無回答	8	0.6%
合計	1,242	100.0%



5. 居住年数

阪南市にお住まいになって通算何年になりますか。

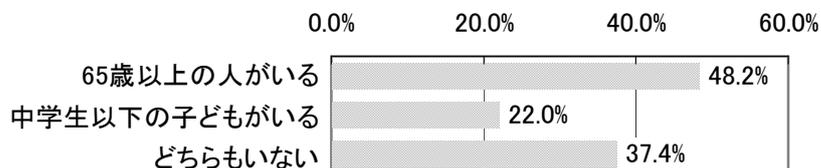
	回答数	構成比
① 生まれたときからずっと住んでいる	433	34.9%
② 転入して5年未満	34	2.7%
③ 転入して5～9年	33	2.7%
④ 転入して10～19年	133	10.7%
⑤ 転入して20年以上	601	48.4%
無回答	8	0.6%
合計	1,242	100.0%



6. 同居している方

あなたが一緒に暮らしている人の中に、次にあてはまる人はいますか。ご自身も含め、あてはまるものを全て選んでください。

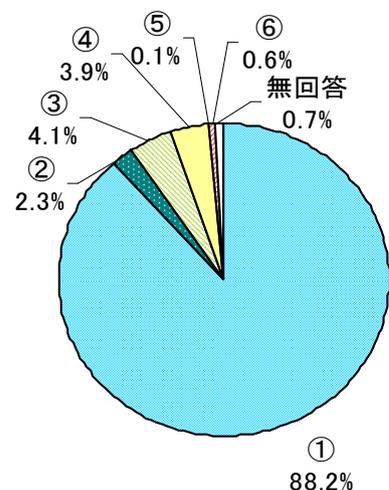
	回答数	構成比
① 65歳以上の人がいる	599	48.2%
② 中学生以下の子どもがいる	273	22.0%
③ どちらもいない	464	37.4%



7. 居住形態

現在、お住まいの居住形態はどれですか。

	回答数	構成比
① 持ち家(一戸建て)	1,096	88.2%
② 持ち家(集合住宅・分譲マンションなど)	29	2.3%
③ 公営賃貸住宅	51	4.1%
④ 民間賃貸住宅	48	3.9%
⑤ 社宅・官舎・寮	1	0.1%
⑥ その他	8	0.6%
無回答	9	0.7%
合計	1,242	100.0%

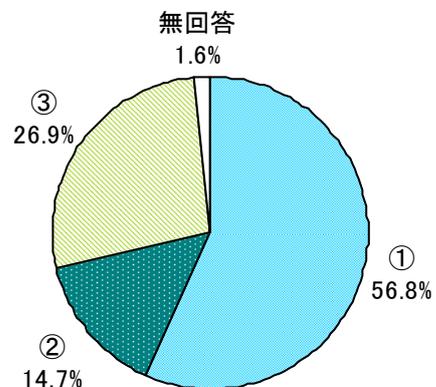


第3章 阪南市の暮らしやすさについて

1. 今後の居住意向

あなたは、阪南市にこれからもお住まいになりたいと思いますか。それとも、阪南市以外に移りたいと思いますか。

	回答数	構成比
① これからも阪南市に住んでいたい	705	56.8%
② できれば阪南市以外の場所に移りたい (移る計画がある)	183	14.7%
③ 考えていない・どちらともいえない	334	26.9%
無回答	20	1.6%
合計	1,242	100.0%



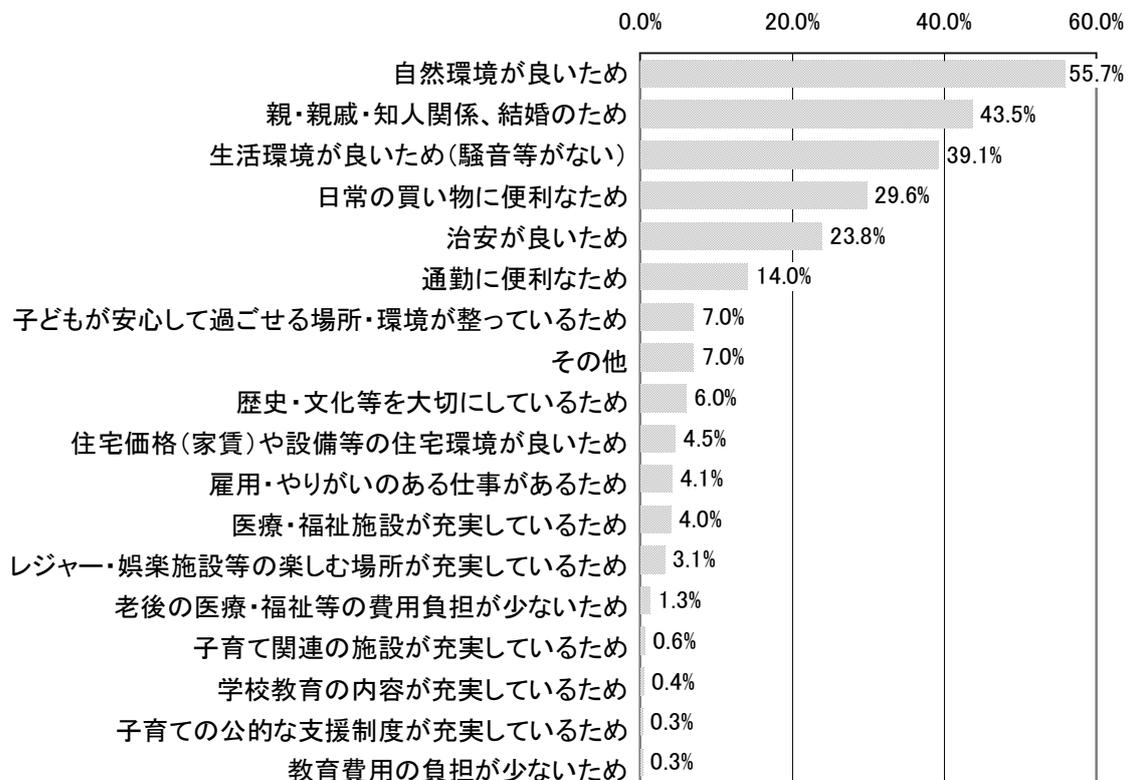
2. これからも住んでいたい理由

これからも阪南市に住んでいたい人にお聞きします。

これからも阪南市に住んでいたい理由として、あてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 705

	回答数	構成比
① 通勤に便利のため	99	14.0%
② 雇用・やりがいのある仕事があるため	29	4.1%
③ 自然環境が良いため	393	55.7%
④ 生活環境が良いため(騒音等がない)	276	39.1%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実しているため	2	0.3%
⑥ 子育て関連の施設が充実しているため	4	0.6%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っているため	49	7.0%
⑧ 教育費用の負担が少ないため	2	0.3%
⑨ 学校教育の内容が充実しているため	3	0.4%
⑩ 日常の買い物に便利のため	209	29.6%
⑪ 治安が良いため	168	23.8%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実しているため	22	3.1%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良いため	32	4.5%
⑭ 医療・福祉施設が充実しているため	28	4.0%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が少ないため	9	1.3%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	307	43.5%
⑰ 歴史・文化等を大切にしているため	42	6.0%
⑱ その他	49	7.0%



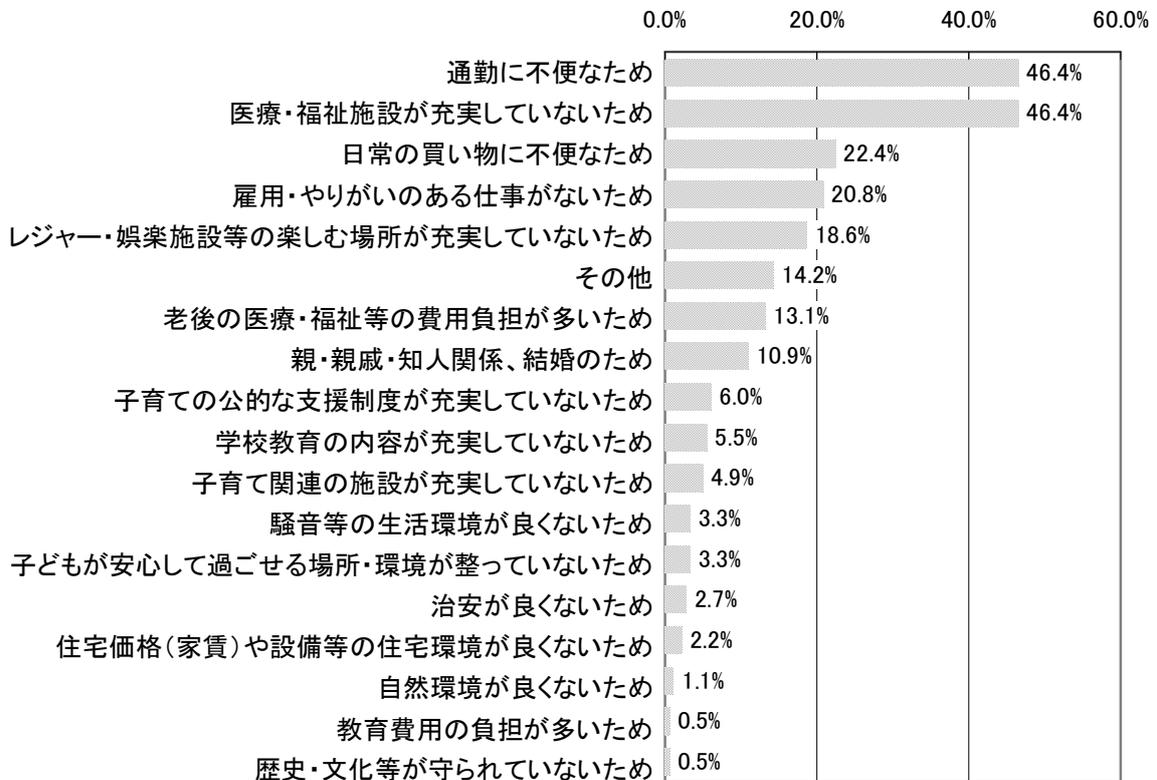
3. 阪南市以外に移りたい理由

阪南市以外に移りたい（移る計画がある）人にお聞きします。

阪南市以外に移りたい理由として、あてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 183

	回答数	構成比
① 通勤に不便なため	85	46.4%
② 雇用・やりがいのある仕事がないため	38	20.8%
③ 自然環境が良くないため	2	1.1%
④ 騒音等の生活環境が良くないため	6	3.3%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実していないため	11	6.0%
⑥ 子育て関連の施設が充実していないため	9	4.9%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っていないため	6	3.3%
⑧ 教育費用の負担が多いため	1	0.5%
⑨ 学校教育の内容が充実していないため	10	5.5%
⑩ 日常の買い物に不便なため	41	22.4%
⑪ 治安が良くないため	5	2.7%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため	34	18.6%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良くないため	4	2.2%
⑭ 医療・福祉施設が充実していないため	85	46.4%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が多いため	24	13.1%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	20	10.9%
⑰ 歴史・文化等が守られていないため	1	0.5%
⑱ その他	26	14.2%



第4章 阪南市の現状と今後の施策について

1. はじめに

阪南市の施策ごとの現状について、施策の内容が達成されているか、また、それはどれくらい重要かについての回答結果です。

ここでは、以下の構成で説明します。

(1) 施策ごとの達成度・重要度

施策ごとの達成度・重要度を5段階で回答した「回答の構成比」を示します。

(2) 達成度・重要度の指数化

施策の達成度・重要度の回答をもとに、それぞれの施策の達成度・重要度を点数化（指数化）し、施策ごとの達成度・重要度の比較結果を示します。

点数の計算方法はP.12で説明します。

(3) ポートフォリオ

ポートフォリオ分析とは、各施策についての「重要度指数」や「達成度指数」をもとに散布図に表すことで、それぞれの施策の実現に向けた取り組みの方向性や必要性、優先度などを分析するものです。

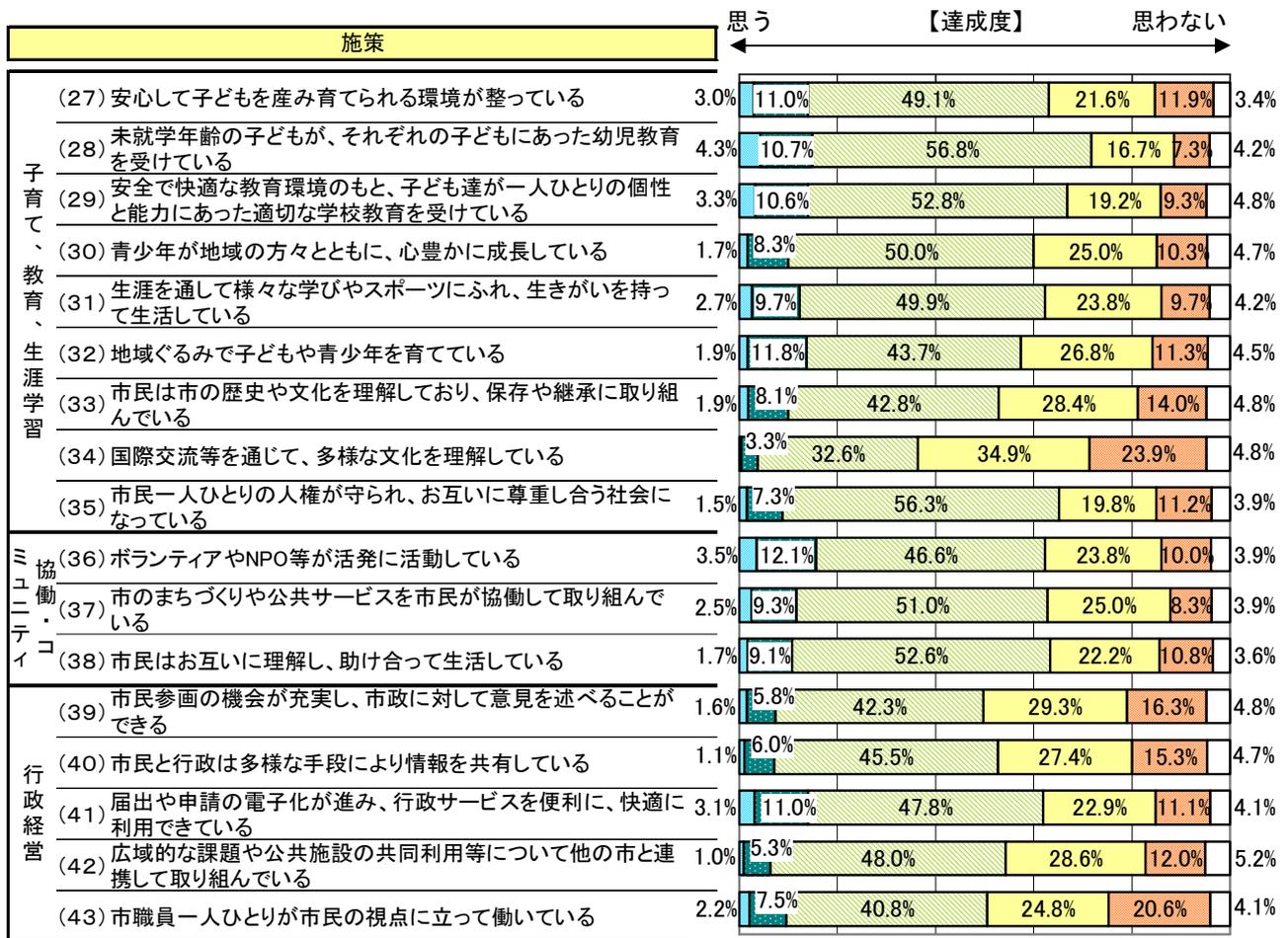
ポートフォリオ分析の考え方等、詳しくはP.15で説明します。

2. 施策ごとの達成度・重要度

(1) 達成度

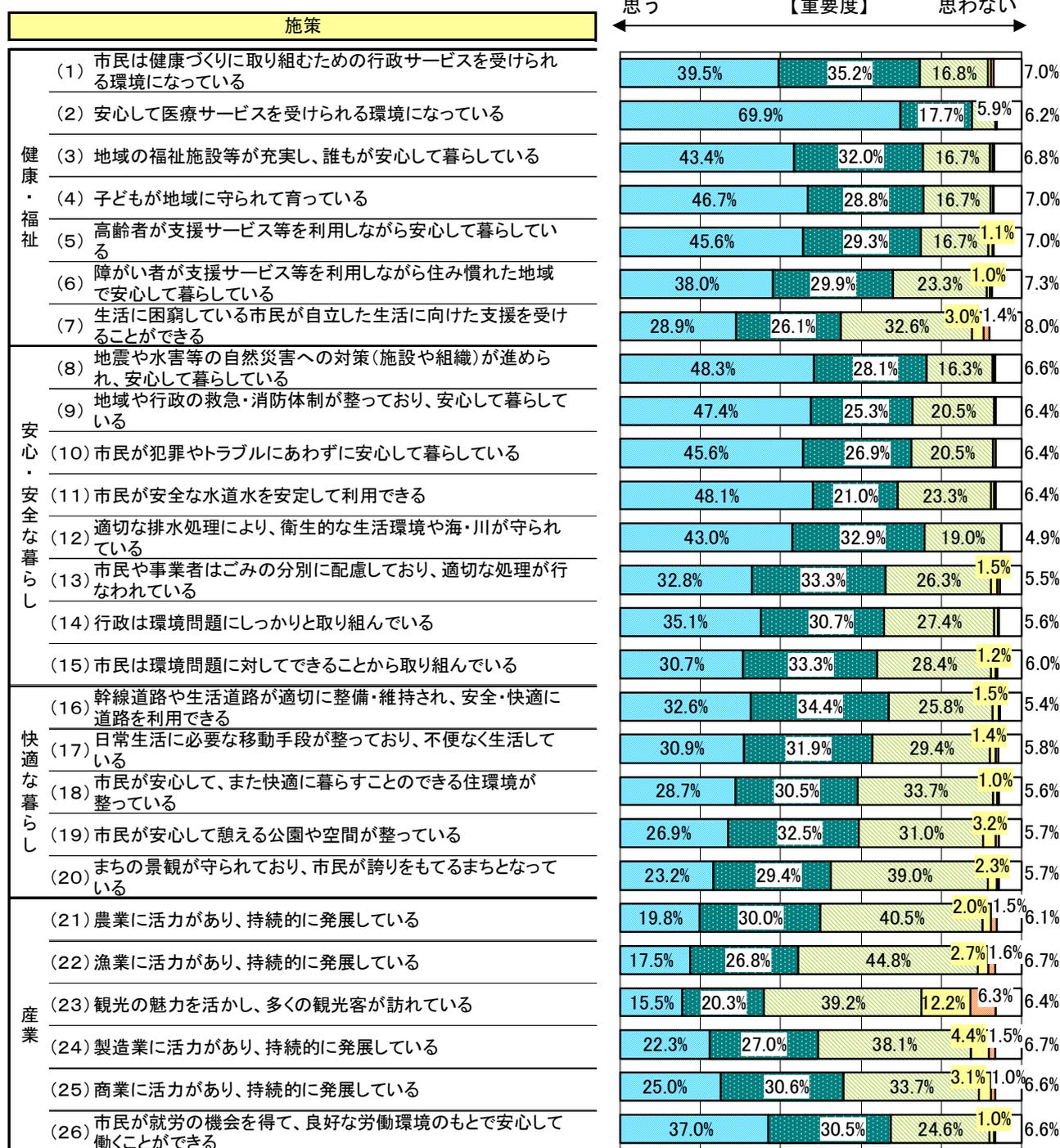


■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ ふつう
 ■ どちらかといえばそう思わない
 ■ そう思わない
 □ 無回答



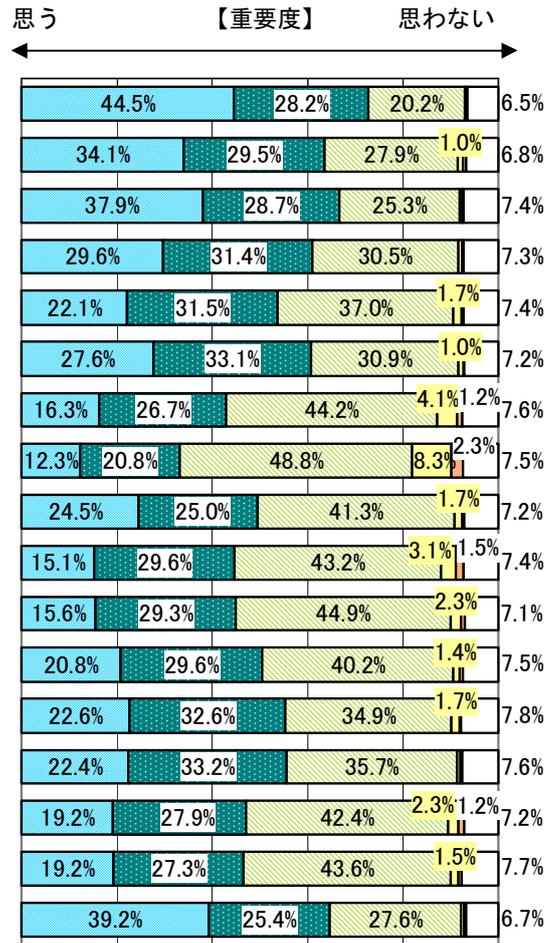
そう思う
 どちらかといえば思う
 ふつう
 どちらかといえば思わない
 そう思わない
 無回答

(2) 重要度



□ そう思う ■ どちらかといえばそう思う □ ふつう □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

施策	
子育て、教育、生涯学習	(27) 安心して子どもを産み育てられる環境が整っている
	(28) 未就学年齢の子どもが、それぞれの子どもにあった幼児教育を受けている
	(29) 安全で快適な教育環境のもと、子ども達が一人ひとりの個性と能力にあった適切な学校教育を受けている
	(30) 青少年が地域の方々とともに、心豊かに成長している
	(31) 生涯を通して様々な学びやスポーツにふれ、生きがいを持って生活している
ミ協働・テクノロジー	(32) 地域ぐるみで子どもや青少年を育てている
	(33) 市民は市の歴史や文化を理解しており、保存や継承に取り組んでいる
	(34) 国際交流等を通じて、多様な文化を理解している
	(35) 市民一人ひとりの人権が守られ、お互いに尊重し合う社会になっている
	(36) ボランティアやNPO等が活発に活動している
行政経営	(37) 市のまちづくりや公共サービスを市民が協働して取り組んでいる
	(38) 市民はお互いに理解し、助け合って生活している
	(39) 市民参画の機会が充実し、市政に対して意見を述べることができる
	(40) 市民と行政は多様な手段により情報を共有している
	(41) 届出や申請の電子化が進み、行政サービスを便利に、快適に利用できている
	(42) 広域的な課題や公共施設の共同利用等について他の市と連携して取り組んでいる
	(43) 市職員一人ひとりが市民の視点に立って働いている

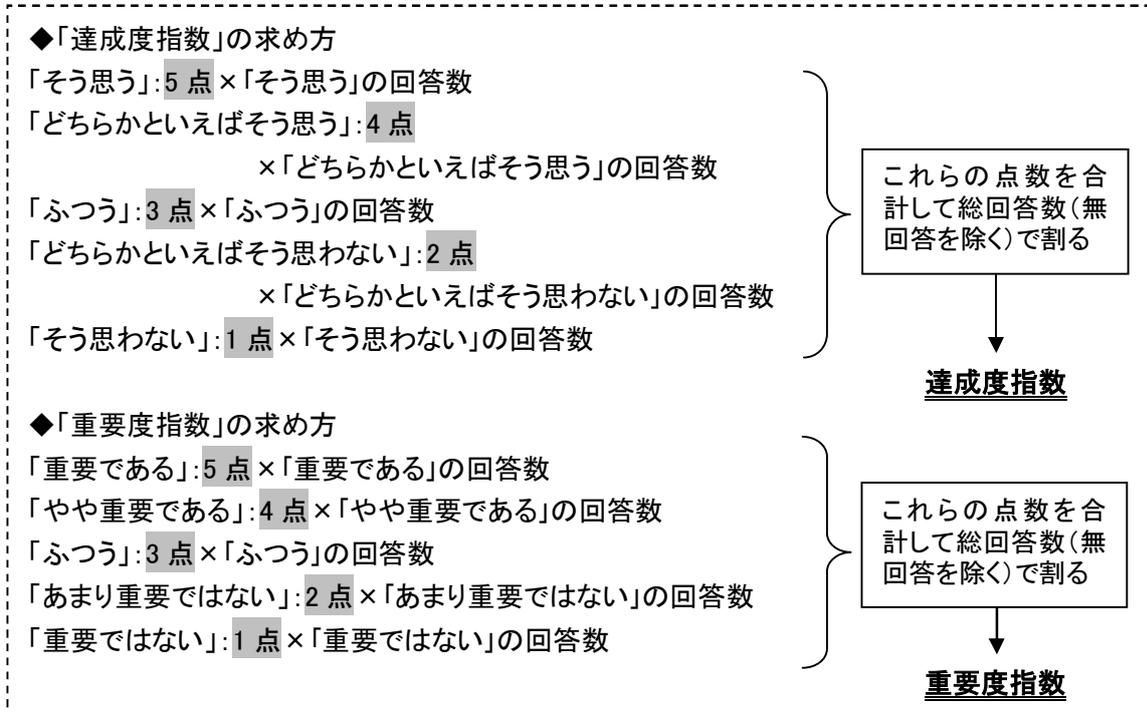


■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ ふつう
 ■ どちらかといえばそう思わない
 ■ そう思わない
 ■ 無回答

3. 達成度・重要度の指数化

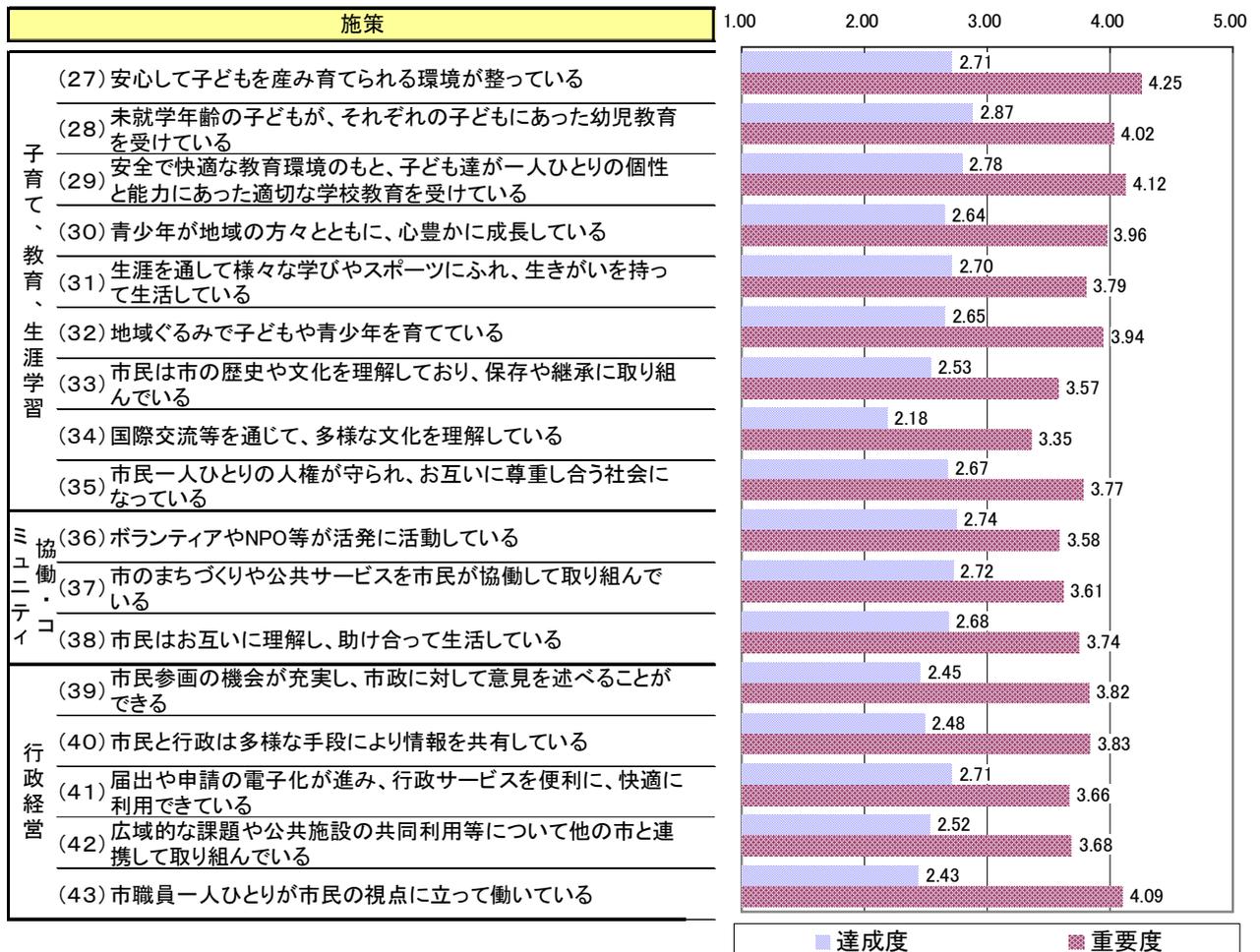
(1) 指数化とは

「指数化」とは、施策の達成度・重要度を比べられるように、それぞれの施策の達成度・重要度を点数化（指数化）したものです。点数の計算方法は以下に示すとおりです。



(2) 指数化の結果





4. ポートフォリオ分析

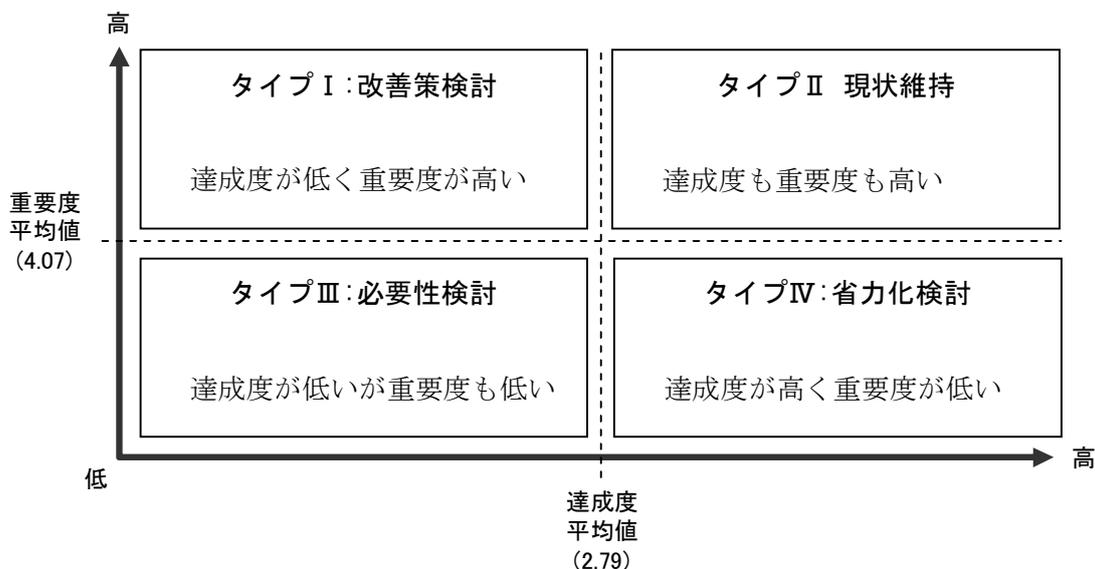
(1) ポートフォリオ分析とは

ポートフォリオ分析とは、各施策についての「重要度指数」や「達成度指数」をもとに散布図に表すことで、それぞれの施策の実現に向けた取り組みの方向性や必要性、優先度などを分析するものです。

「達成度指数」は、まちづくりに対する市民の評価であるといえ、行政・市民が協力して、達成度をより高める努力をすることが求められます。一方、「重要度指数」は市民の価値観であるといえ、総合的な評価を高めるために、まちづくりの方向性検討において十分に配慮すべきものと言えます。

《ポートフォリオ分析の考え方》

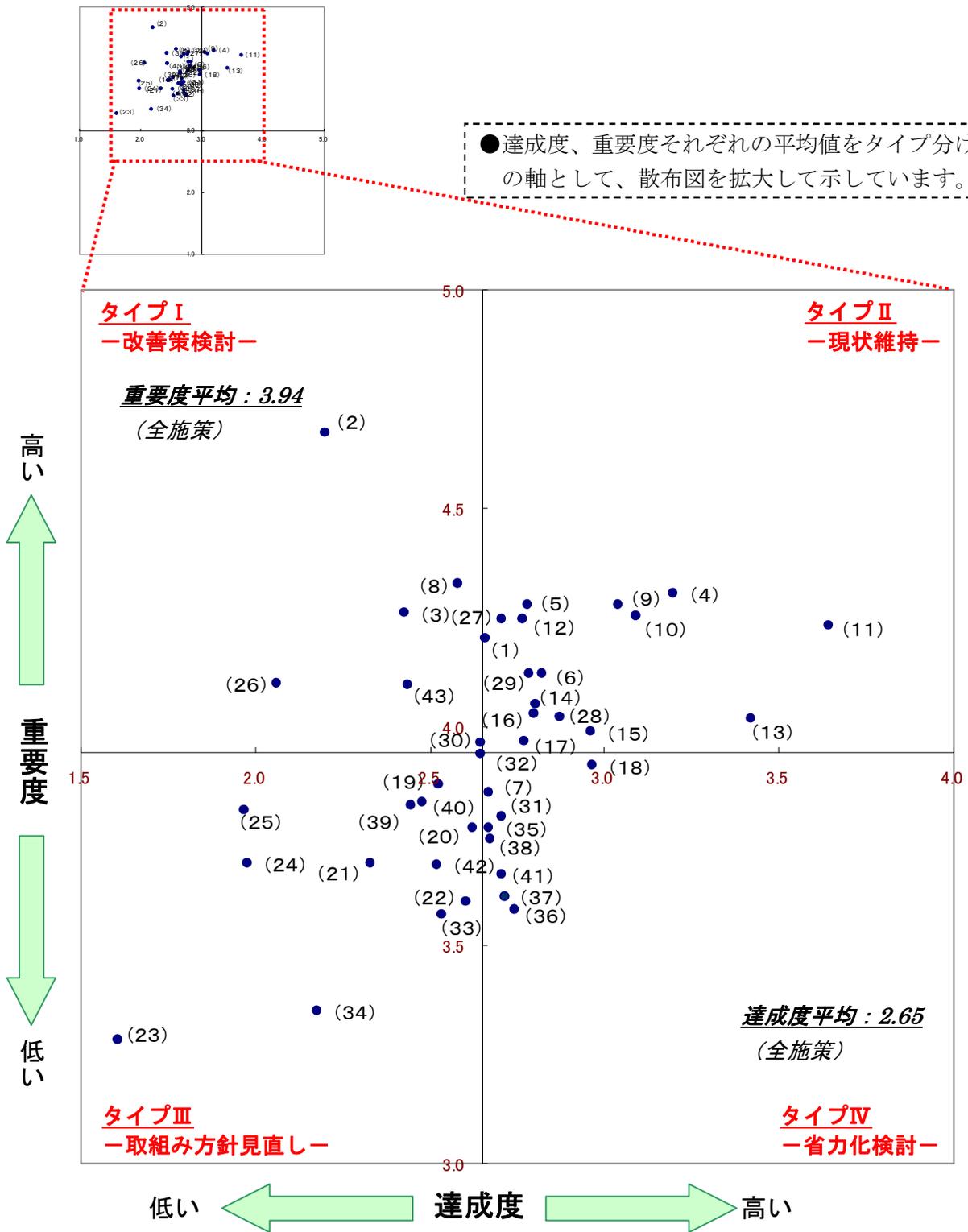
ポートフォリオのグラフは横軸が「達成度指数」を表し、縦軸が「重要度指数」を表しており、全施策の「達成度指数」の平均値と「重要度指数」の平均値を基準にしてグラフの範囲を大きく4つのタイプ（下図）に分類しています。ここで言う「高い」「低い」は、ある施策の「達成度」と「重要度」の評価が、他の施策に対して「相対的に高い」か、「相対的に低い」かを意味しています。



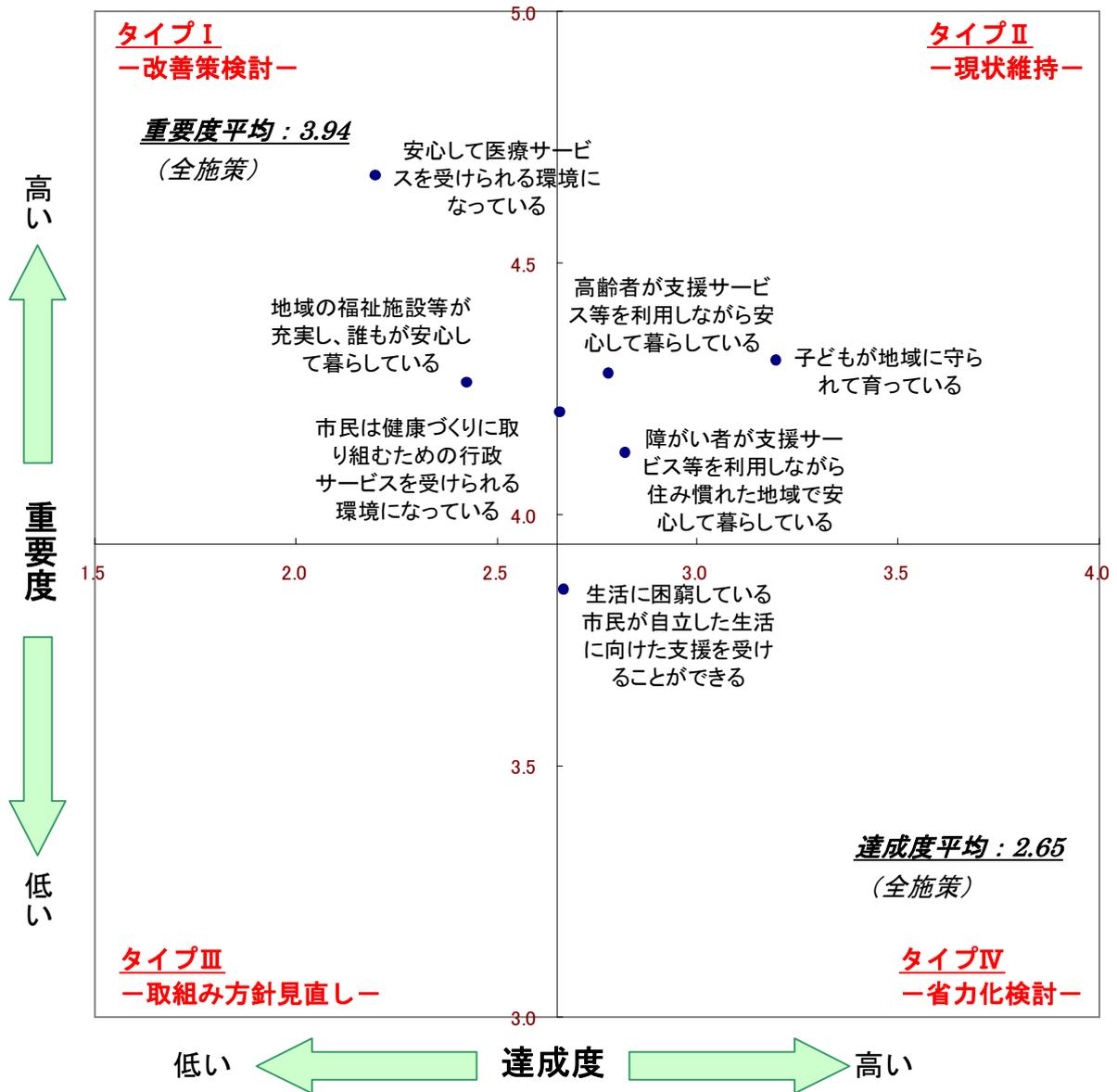
分類	求められること
タイプⅠ 改善策検討	重要度が高く達成度が低いことから、最優先で改善策を検討しなければならない施策
タイプⅡ 現状維持	重要度も達成度も高いことから、引き続き達成度を維持していきべき施策
タイプⅢ 必要性検討	達成度を高める取り組みが必要なのか、重要度が低いことから、必要性も含めて見直しを検討すべきか、あるいは重要度の認識共有化が必要か、など、今後の取り組み方針の見直しが求められる施策
タイプⅣ 省力化検討	達成度が高いが重要度は低いことから、このままの状態を保つとともに、今後の取り組みでは、力の入れ方について見直しを検討すべき施策

(2) ポートフォリオ分析結果

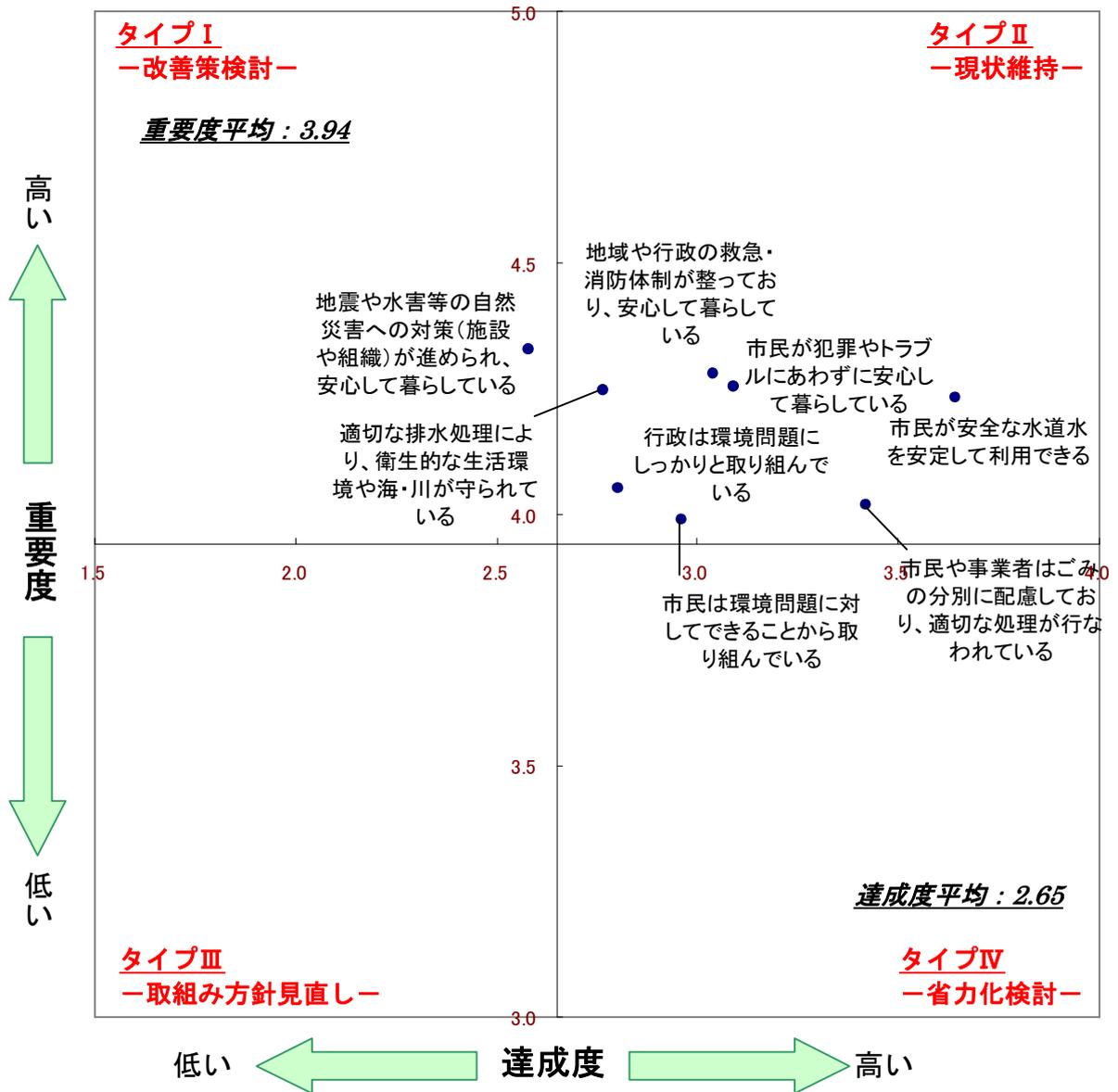
《全施策》



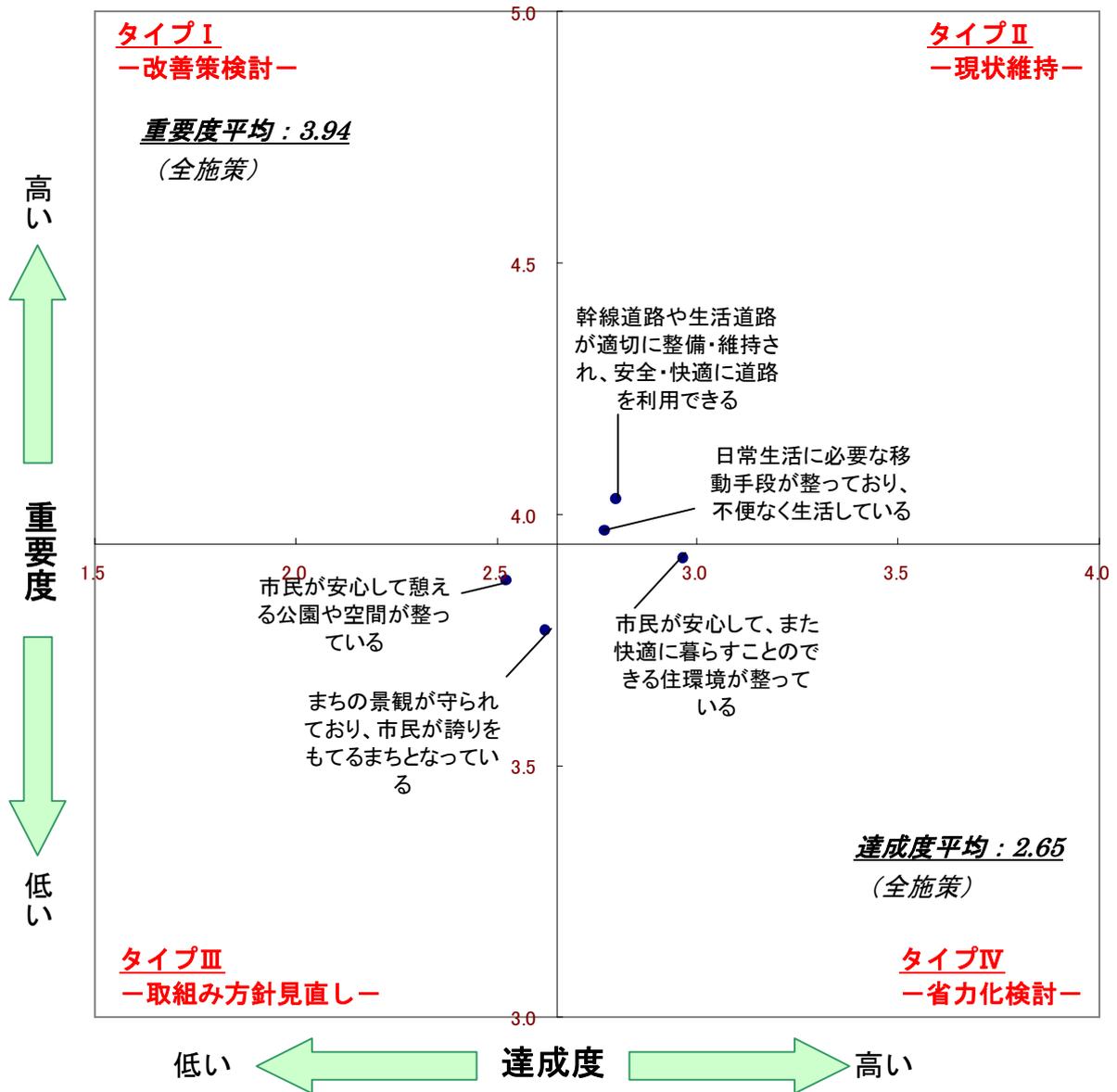
《健康・福祉》

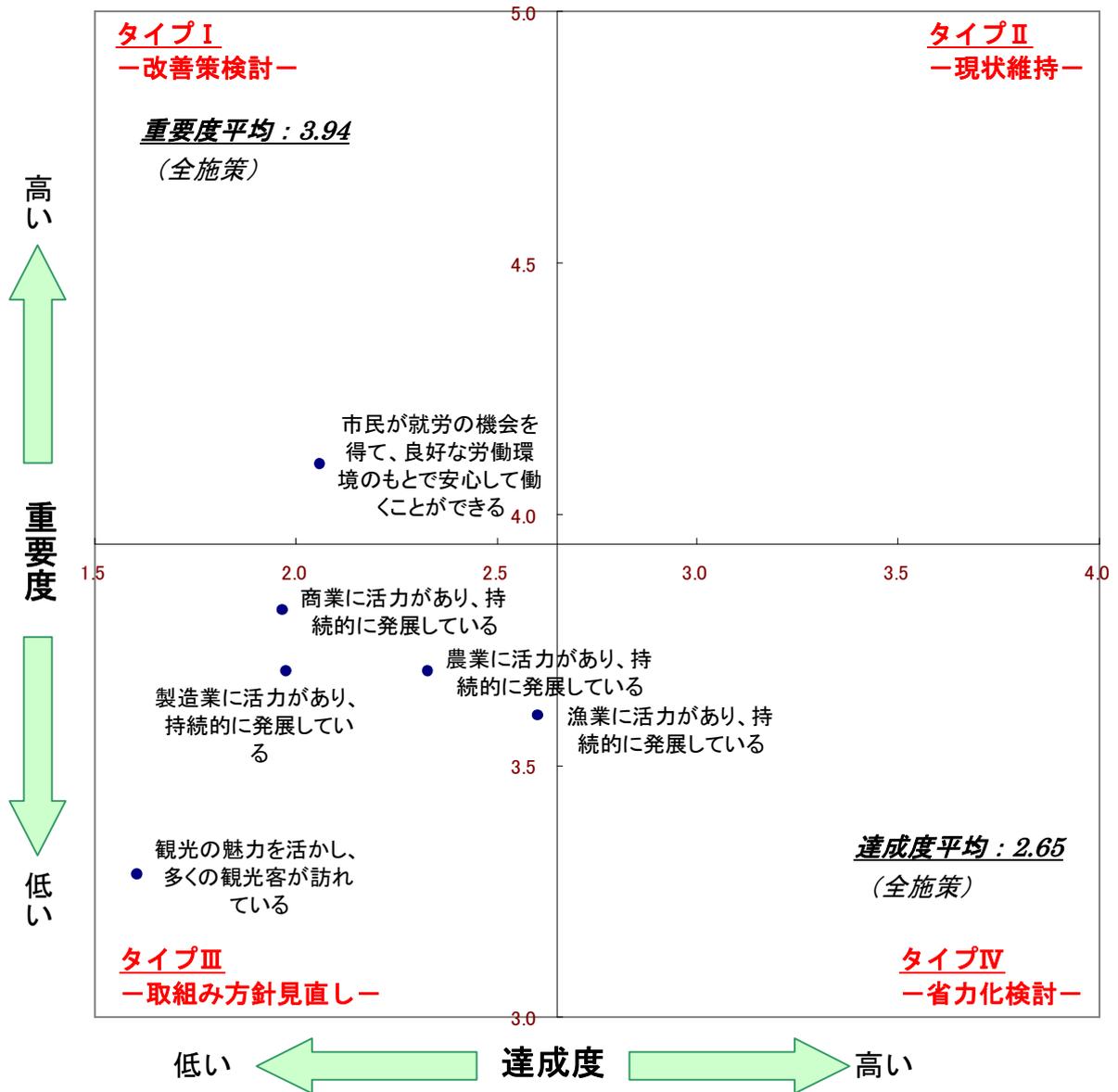


《安心・安全な暮らし》

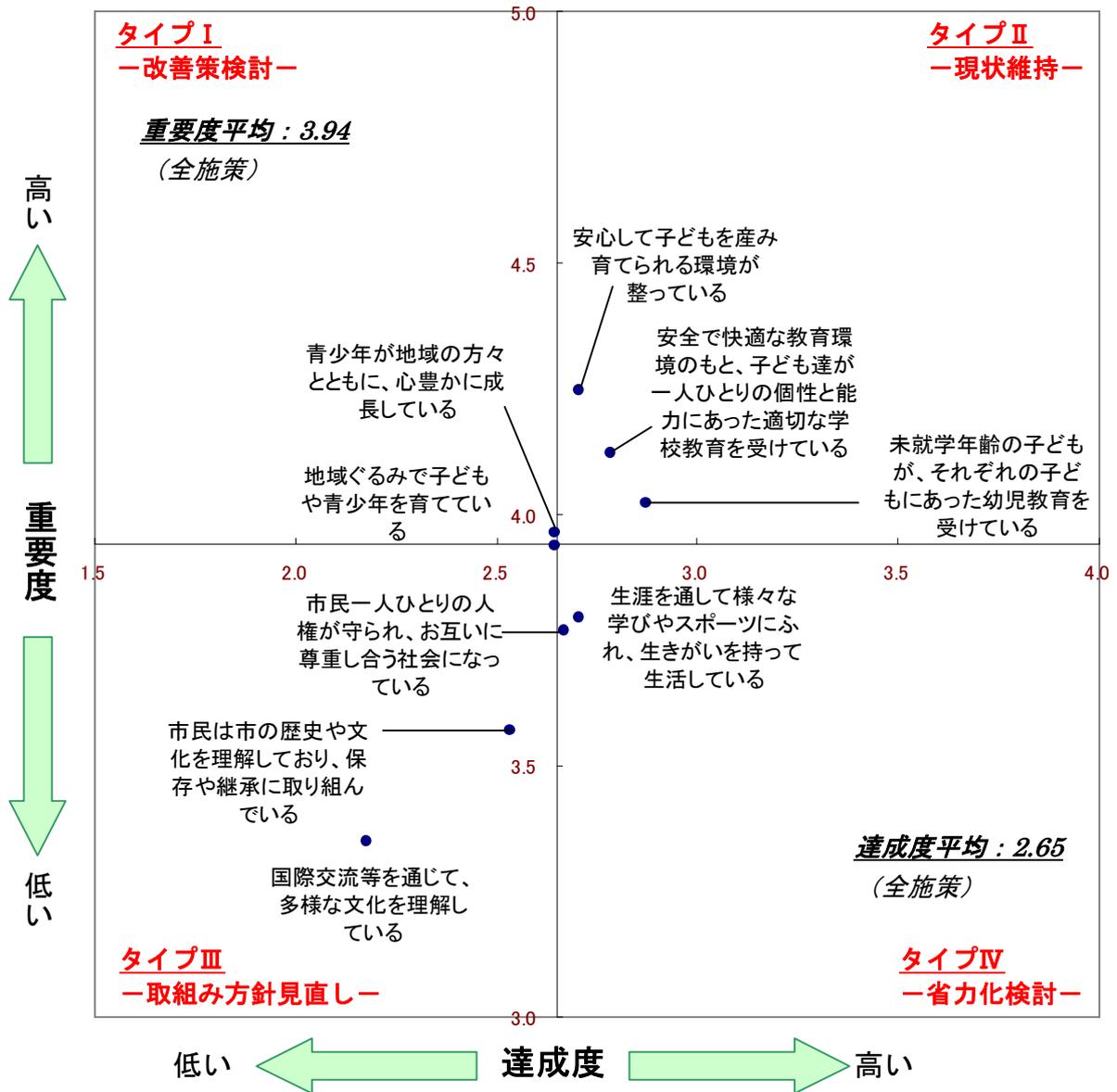


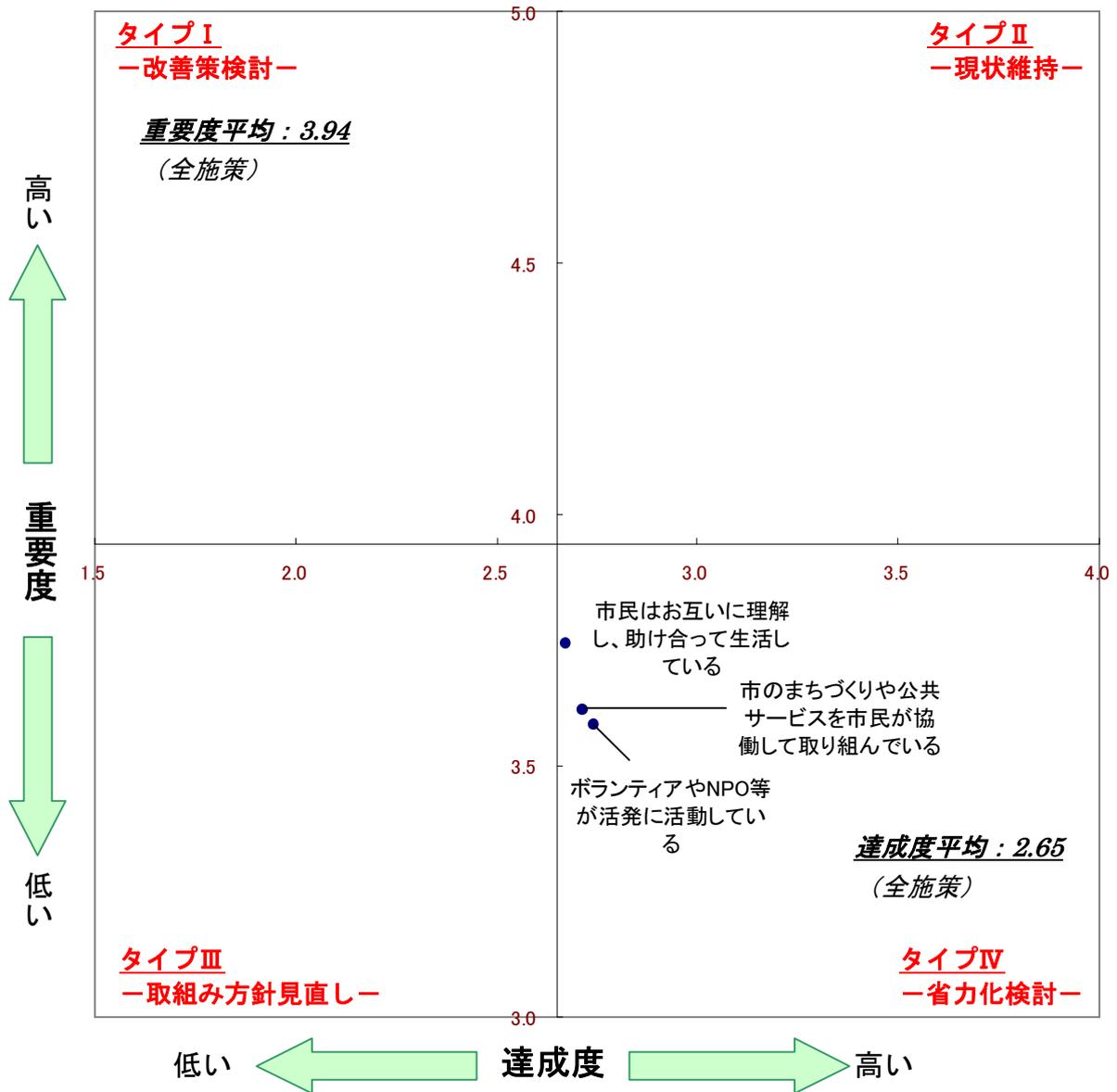
《快適な暮らし》



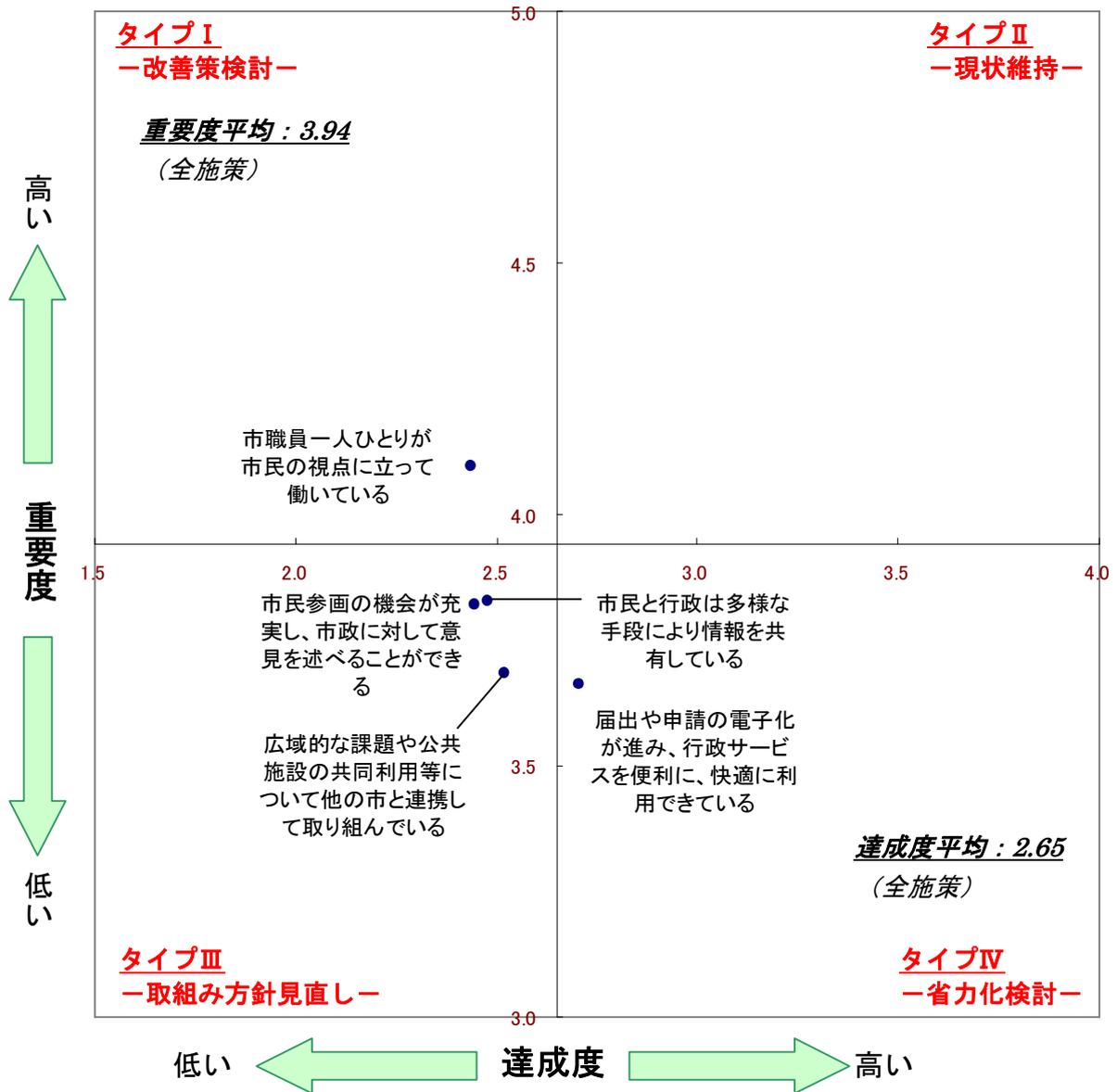


《子育て、教育、生涯学習》





《行政経営》

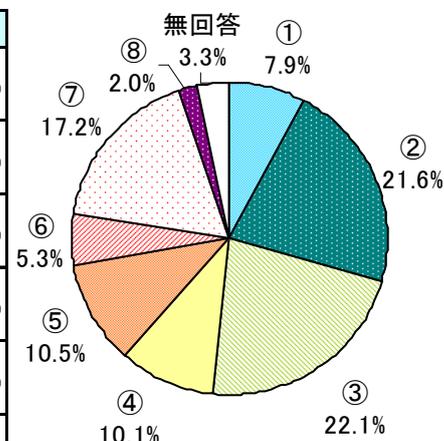


第5章 今後のまちづくりについて

1. 産業活性化の方向性

あなたは、阪南市の産業活性化のためには、どのようなまちづくりを展開していくべきだと思いますか。

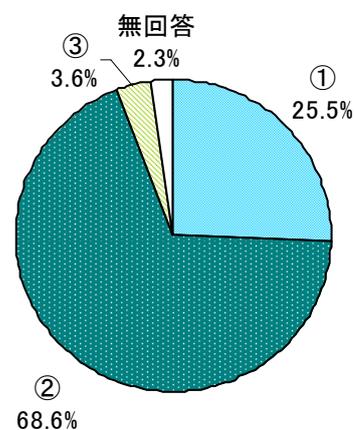
	回答数	構成比
① 地域産業(例:観光産業)の活性化に重点を置くべき	98	7.9%
② 市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき	268	21.6%
③ 市内の雇用を早急に創出するため、業種に関係なく外部からの誘致に重点を置くべき	274	22.1%
④ 農産ブランドの確立や農家の担い手育成等、農業振興に重点を置くべき	125	10.1%
⑤ 海という資源を活かし、水産物の流通拡大や担い手育成等、漁業振興に重点を置くべき	131	10.5%
⑥ 多くの観光客が訪れるよう観光資源の掘り起こしやPR等、観光振興に重点を置くべき	66	5.3%
⑦ 地域のイメージアップのため環境への負荷の少ない産業の創造・育成に重点を置くべき	214	17.2%
⑧ その他	25	2.0%
無回答	41	3.3%
合計	1,242	100.0%



2. 企業誘致の進め方

現在、阪南市では、製造業などの企業誘致を行っています。今後の企業誘致の進め方について、どう考えますか。

	回答数	構成比
① 税金などを優遇してでも、活性化のために推進すべき	317	25.5%
② 企業誘致は必要であるが、市民負担を増やすべきではない	852	68.6%
③ 必要ない	45	3.6%
無回答	28	2.3%
合計	1,242	100.0%

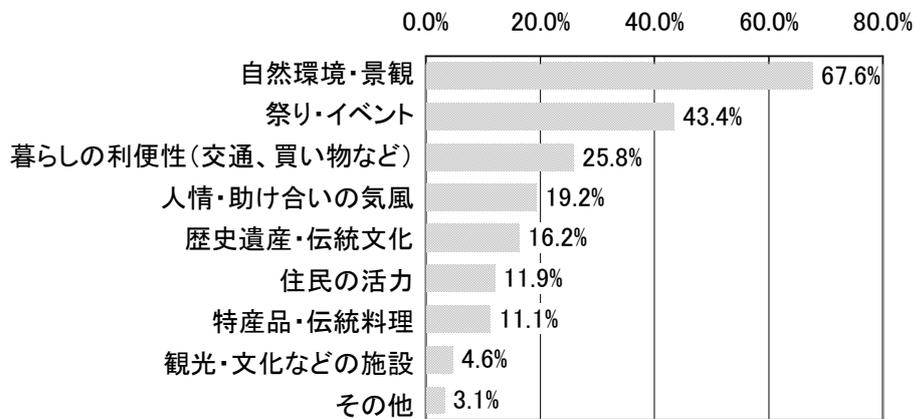


3. 阪南市の資源・強み

阪南市が他に誇れる、地域の資源・強みは何だと思えますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 1,242

	回答数	構成比
① 歴史遺産・伝統文化	201	16.2%
② 自然環境・景観	839	67.6%
③ 特産品・伝統料理	138	11.1%
④ 祭り・イベント	539	43.4%
⑤ 観光・文化などの施設	57	4.6%
⑥ 住民の活力	148	11.9%
⑦ 暮らしの利便性(交通、買い物など)	320	25.8%
⑧ 人情・助け合いの気風	239	19.2%
⑨ その他	39	3.1%

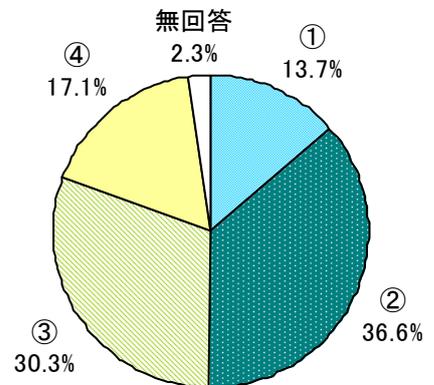


第6章 協働のまちづくりについて

1. 社会活動の参加意向

あなたは、ボランティアやNPOなどの社会活動に参加したいと思いますか。

	回答数	構成比
① 積極的に参加したい	170	13.7%
② 付き合い程度に参加したい	455	36.6%
③ 参加できない(参加したいが機会がない)	376	30.3%
④ 参加したくない	213	17.1%
無回答	28	2.3%
合計	1,242	100.0%

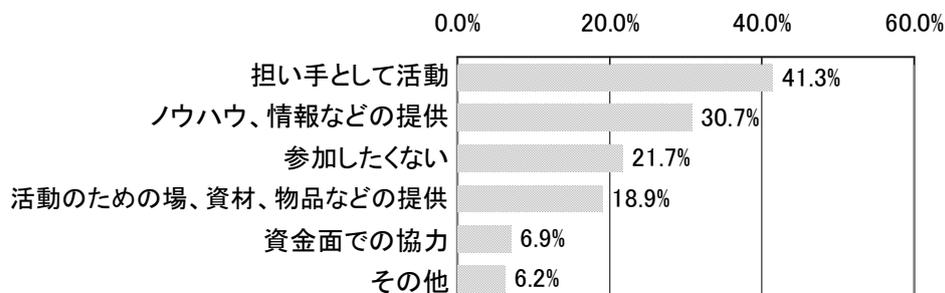


2. 協働のまちづくりへの関わり方

あなたは、今後、協働のまちづくりに参加する場合、どのような関わり方ができますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 1,242

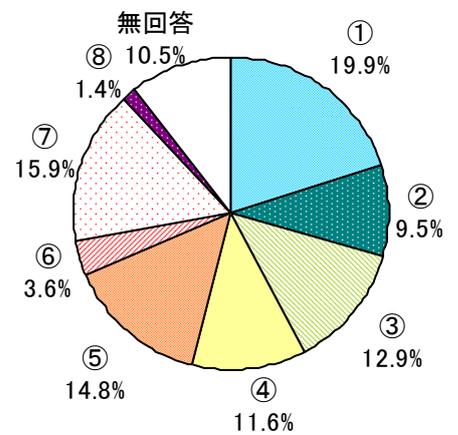
	回答数	構成比
① 担い手として活動	513	41.3%
② 資金面での協力	86	6.9%
③ 活動のための場、資材、物品などの提供	235	18.9%
④ ノウハウ、情報などの提供	381	30.7%
⑤ 参加したくない	269	21.7%
⑥ その他	77	6.2%



3. 行政の役割

今後、協働のまちづくりを進めていくために、行政はどのような役割を担うことを期待しますか。

	回答数	構成比
① 地域づくりのキーマンとなる人材発掘・育成	247	19.9%
② 地域づくりの活動の担い手の拡大	118	9.5%
③ 地域づくりのためのノウハウ・情報の提供	160	12.9%
④ 地域づくりのための資金支援	144	11.6%
⑤ 地域の人材・組織が交流する機会・場の提供	184	14.8%
⑥ 啓発活動	45	3.6%
⑦ 多様な市民活動の機会・場の創出・提供	197	15.9%
⑧ その他	17	1.4%
無回答	130	10.5%
合計	1,242	100.0%

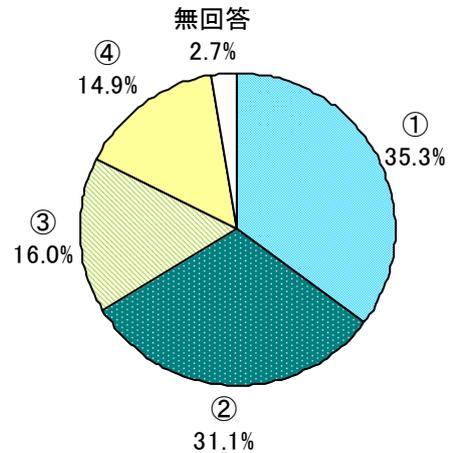


第7章 日常生活について

1. インターネット利用

普段、インターネットを利用していますか。

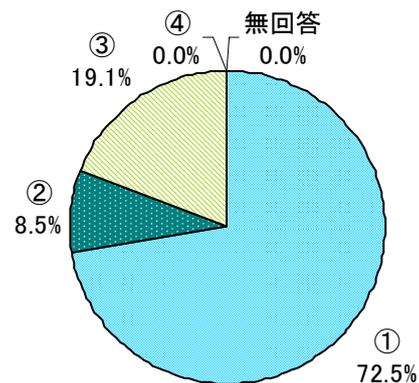
	回答数	構成比
① よく利用している	438	35.3%
② ときどき利用している	386	31.1%
③ 全く利用していない	199	16.0%
④ 利用できない	185	14.9%
無回答	34	2.7%
合計	1,242	100.0%



2. インターネットの利用手段

何を使ってインターネットを利用していますか。

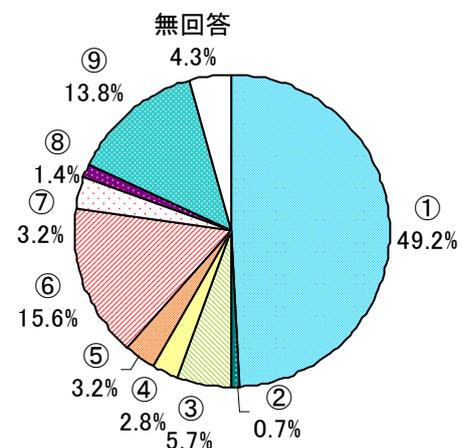
	回答数	構成比
① パソコン	597	72.5%
② 携帯電話	70	8.5%
③ 両方(①と②)	157	19.1%
④ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	824	100.0%



3. 暮らしの情報の取得手段

暮らしの情報は、主に何から得たいですか。

	回答数	構成比
① 広報はんなん	611	49.2%
② 市施設の掲示物(掲示板)	9	0.7%
③ 市ウェブサイト	71	5.7%
④ 他のウェブサイト	35	2.8%
⑤ 回覧板	40	3.2%
⑥ 新聞	194	15.6%
⑦ 情報誌	40	3.2%
⑧ ラジオ	17	1.4%
⑨ テレビ	171	13.8%
無回答	54	4.3%
合計	1,242	100.0%

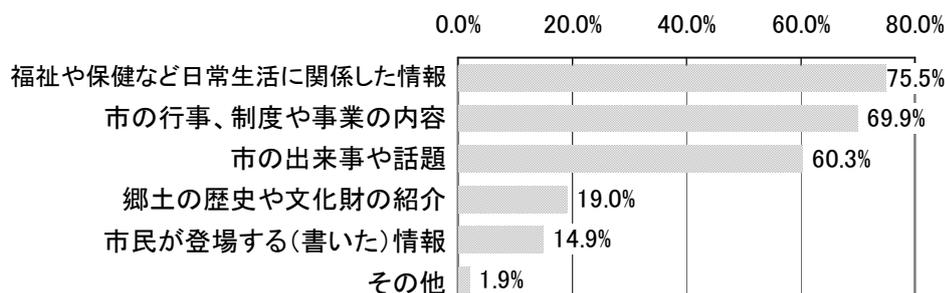


4. 知りたい情報

阪南市のどのような情報を知りたいですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 1,242

	回答数	構成比
① 市の行事、制度や事業の内容	868	69.9%
② 市の出来事や話題	749	60.3%
③ 郷土の歴史や文化財の紹介	236	19.0%
④ 福祉や保健など日常生活に関係した情報	938	75.5%
⑤ 市民が登場する(書いた)情報	185	14.9%
⑥ その他	24	1.9%

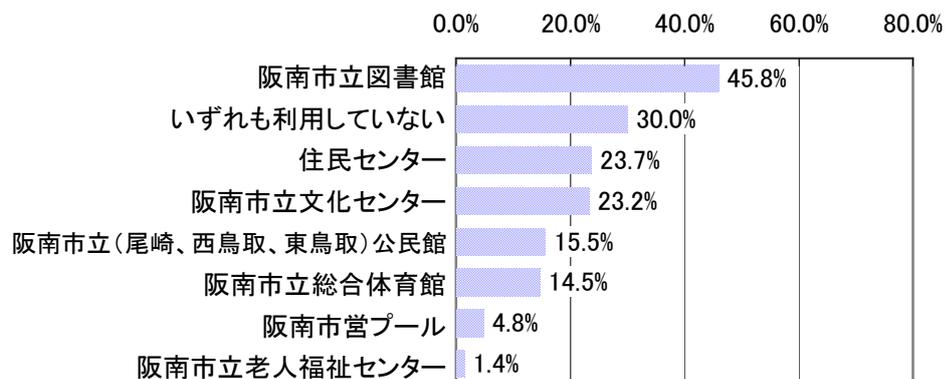


5. 公共施設の利用有無

この1年間に、次の公共施設を利用する機会がありましたか。次の中から頻度の多いものから順に最大3つまで選んでください。

N = 1,242

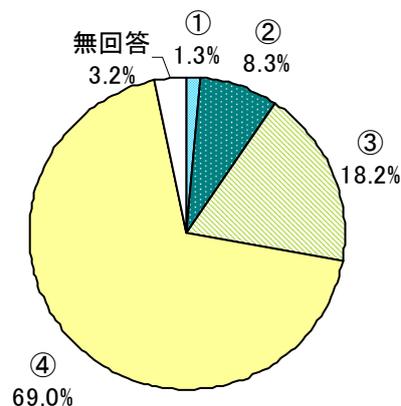
	回答数	構成比
① 阪南市立文化センター	288	23.2%
② 阪南市立図書館	569	45.8%
③ 阪南市立(尾崎、西鳥取、東鳥取)公民館	193	15.5%
④ 阪南市立総合体育館	180	14.5%
⑤ 阪南市営プール	59	4.8%
⑥ 住民センター	294	23.7%
⑦ 阪南市立老人福祉センター	17	1.4%
⑧ いずれも利用していない	372	30.0%



6. 自治基本条例の認知

「阪南市自治基本条例」を知っていますか。

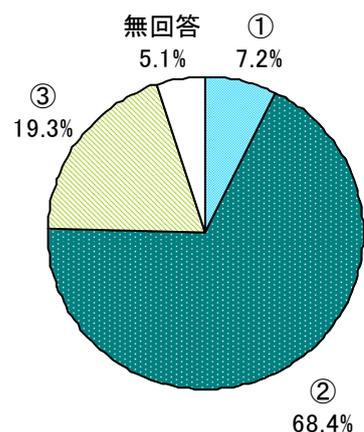
	回答数	構成比
① 内容までよく知っている	16	1.3%
② 見たことがある程度	103	8.3%
③ 名前を知っている程度	226	18.2%
④ 知らない	857	69.0%
無回答	40	3.2%
合計	1,242	100.0%



7. 行政サービスと負担

行政サービスと税金などの負担について、どのように考えますか。

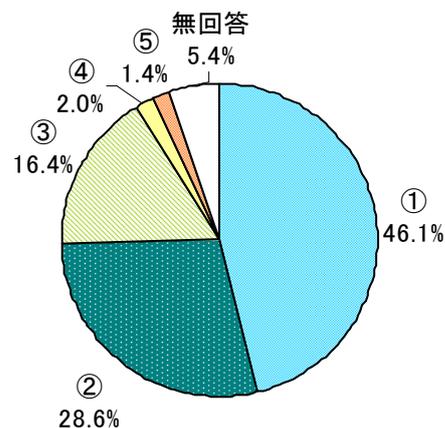
	回答数	構成比
① 市民負担が大きくても、すべての行政サービス水準が高いほうがよい	90	7.2%
② 行政サービスに優先度をつけて、現状の市民負担を維持すべき	849	68.4%
③ すべての行政サービス水準が低くても、市民負担が小さいほうがよい	240	19.3%
無回答	63	5.1%
合計	1,242	100.0%



8. 中心市街地の方向性

これからのまちづくりを進めるにあたって、阪南市の中心市街地が、どのようなまちをめざしたら良いと考えますか。

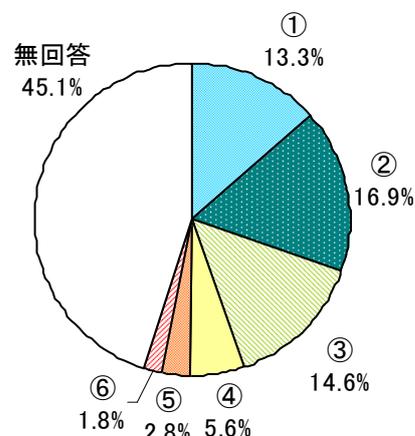
	回答数	構成比
① 住むための機能が集積した場所	573	46.1%
② 商業機能が集積した場所	355	28.6%
③ 市民の文化交流・教育(生涯学習)の場所	204	16.4%
④ 来訪者との交流の場所	25	2.0%
⑤ その他	18	1.4%
無回答	67	5.4%
合計	1,242	100.0%



9. 通勤・通学先

通勤・通学されている人にお聞きします。 通勤・通学先はどちらですか。

	回答数	構成比
① 阪南市内	165	13.3%
② 阪南市以外の泉南地域(岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、熊取町、田尻町、岬町)	210	16.9%
③ 大阪市・泉北地域(堺市、高石市、泉大津市、和泉市、忠岡町)	181	14.6%
④ ①～③以外のお大阪府内	69	5.6%
⑤ 和歌山県内	35	2.8%
⑥ 大阪府・和歌山県以外の府県内	22	1.8%
無回答	560	45.1%
合計	1,242	100.0%



10. 通勤・通学手段

通勤・通学されている人にお聞きします。

主にどのような交通手段で通勤・通学していますか（阪南市外に通勤・通学されている人は、阪南市内の交通手段のみ回答してください）。あてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 682

	回答数	構成比
① 徒歩・自転車・バイクのみ	159	23.3%
② 自動車のみ	278	40.8%
③ コミュニティーバスのみ	8	1.2%
④ 南海バスのみ	7	1.0%
⑤ 最寄り駅まで徒歩・自転車・バイク	185	27.1%
⑥ 最寄り駅まで自動車	56	8.2%
⑦ 最寄り駅までコミュニティバス	6	0.9%
⑧ 最寄り駅まで南海バス	32	4.7%
⑨ 南海電鉄	240	35.2%
⑩ JR	47	6.9%
⑪ その他	13	1.9%

